

GSX-R1100 (86-88) 手曲チタンサイクロン "Bonneville"

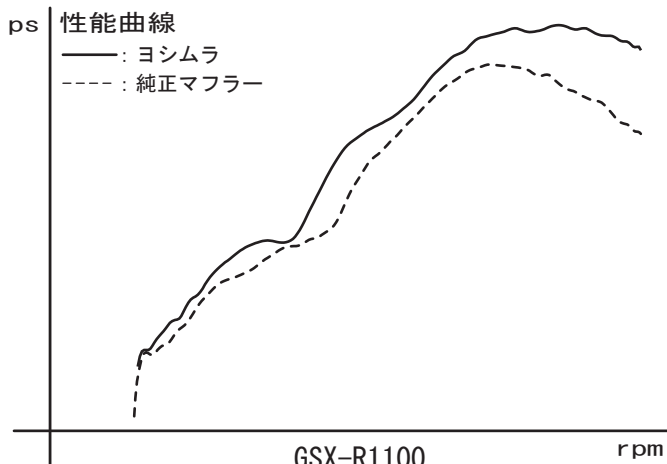
取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業は適切な資格、知識を有する人が行って下さい。
- 車両を取り扱う際は、適切な服装にて行って下さい。
- 作業中はグローブ等を着用し、製品のエッジ部に注意して行って下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい

- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- ▲注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- 参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

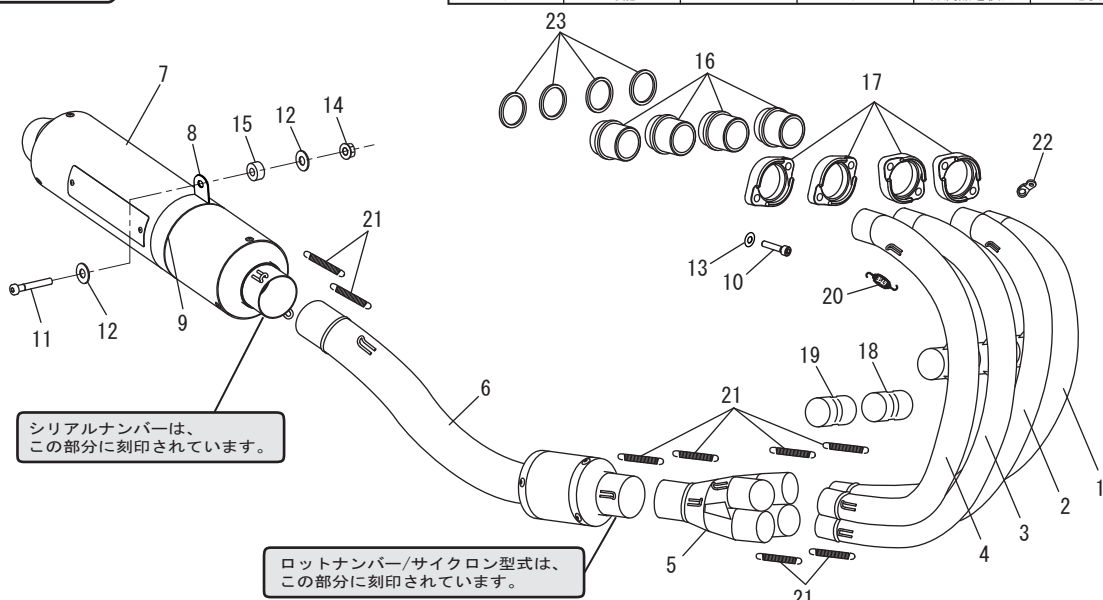
1. 適応車種及び諸元表

車名	GSX-R1100 (86-88)	
車両型式	GU74A	
エンジン型式	U703	
認証番号	00139342	
サイクロン型式	S511HTCI11	
素材	Ti / AL	
品番	アルミサイレンサー	: 110-511-8X00
重量	純正マフラー	: 11.5 kg
	アルミサイレンサー	: 5.2 kg



2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
無	可能	オイルの取外しが必要	無	付属品を使用	必要	可能



NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	エキゾーストパイプ# 1	1	111-511-8X00	14	フランジナットM8	1	823-008-1250
2	エキゾーストパイプ# 2	1	112-511-8X00	15	アルミカラー 8-25-10	1	850-008-2510
3	エキゾーストパイプ# 3	1	113-511-8X00	16	口金# 160	4	136-511-0600
4	エキゾーストパイプ# 4	1	114-511-8X00	17	アルミフランジ	4	117-044-0200
5	集合部	1	119-511-8X00	18	チャンバーセンター# 1	1	121-511-8810
6	テールパイプ	1	115-511-8X00	19	チャンバーセンター# 2	1	122-511-8810
7	サイレンサー	1	139-511-8X00	20	マフラスプリング (フローティング)	4	118-001-0000
8	サイレンサーバンド	1	162-51R-0000	21	マフラスプリング (ロング)	8	118-000-1000
9	サイレンサーバンド用スベラーラバー	1	896-002-0025	22	EXPSプリングフック	4	132-100-5350
10	キャップボルトM8×30	8	800-208-5030	23	エキゾーストガスケット# 446	4	129-446-1000
11	キャップボルトM8×45	1	800-208-5045	※	スプリングインナーチューブ	8	118-000-1100
12	平ワッシャM8×20	2	812-108-2000	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
13	キャップボルト用サラバネM8	8	811-108-0000				

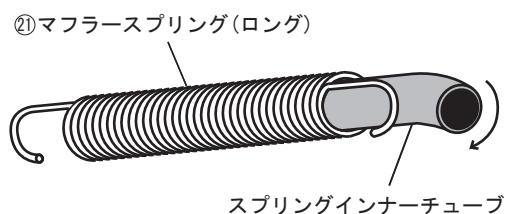
GSX-R1100 手曲チタンサイクロン“Bonneville”は、1980年代後半に販売されたヨシムラ TORNADO1200 Bonneville用マフラー及び、TT-F1レーサー用マフラーを基に、現代の手曲技術を用いて製作した物です。
この為、スタンダードのGSX-R1100に装着するにはカウルの加工が必要になります。又、装着時に位置の微妙な調整が必要となる場合がありますのでご了承願います。

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。
※純正部品の取り外し、取り付けは、メーカー発行のサービスマニュアルを参照して下さい。
※外した純正部品は、大切に保管して下さい。

1. セット内容を確認して下さい。
2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、車体を損傷しないように注意して、純正マフラーを取り外して下さい。（F I G. 1 参照）
3. ②マフラスプリング(ロング)全てにスプリングインナーチューブを入れて下さい。（F I G. 1 参照）

参 考 ・スプリングに入れた状態では、インナーチューブが多少はみ出しますが、マフラーに装着した状態でスプリングが伸びて隠れますので問題ありません。
・インナーチューブを入れるとき、チューブを回転させると入れ易くなります。

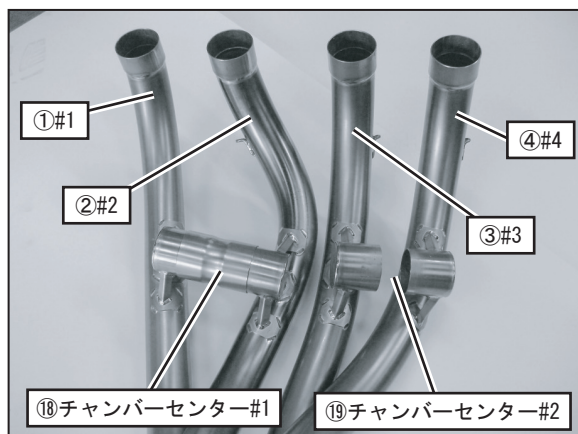


F I G. 1

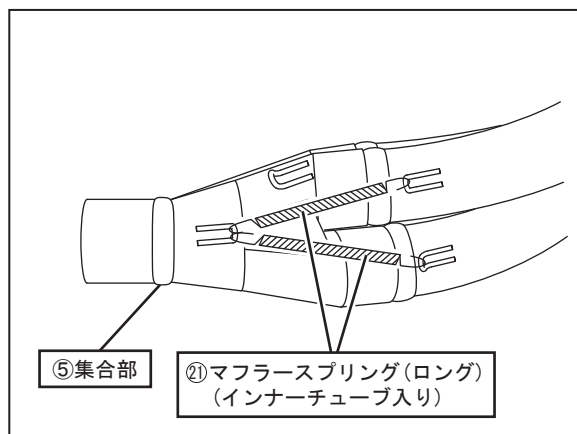
4. エキゾーストパイプの①#1と②#2、③#3と④#4をそれぞれ⑬チャンバーセンター#1(長い方)、⑭チャンバーセンター#2(短い方)を使用して連結して下さい。
次に、組み立てたエキゾーストパイプを⑤集合部に取り付け、手順3でインナーチューブを取り付けた②マフラスプリング(ロング) 4本をスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。
（F I G. 2. 3 参照）

参 考 ・出荷時は既にエキゾーストパイプ、チャンバーセンター、集合部が組み立てられた状態で梱包されています。
・組み立てられたエキゾーストパイプ、チャンバーセンター、集合部を分解する場合は、取り付けられていたエキゾーストパイプがわかるように集合部に番号を記入した紙を貼っておく等の対策を行って下さい。

△危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れないように十分注意して下さい。
(怪我をする恐れがあります)

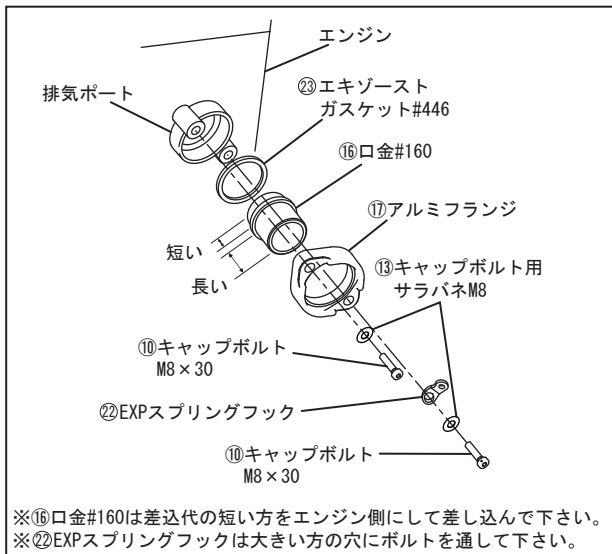


F I G. 2

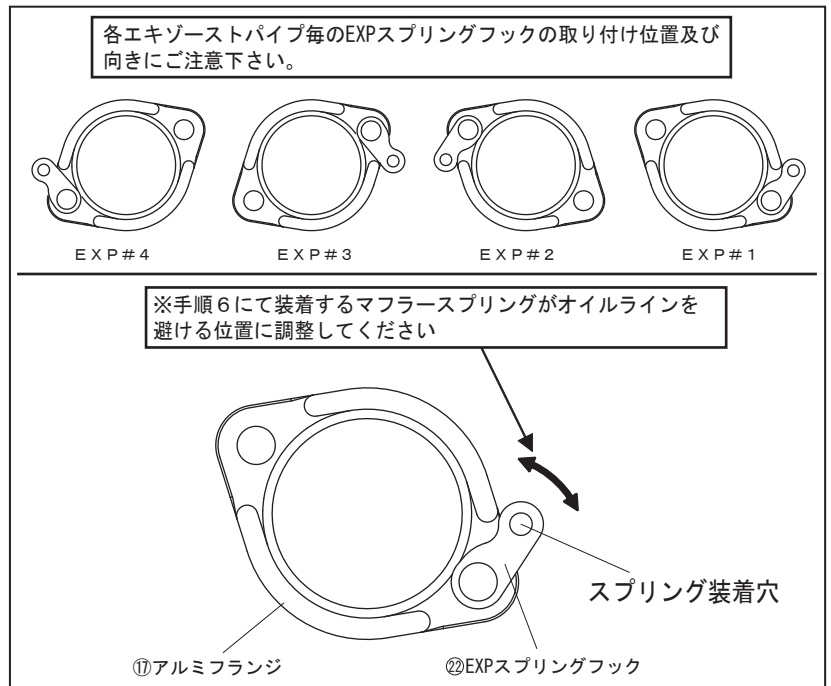


F I G. 3

5. エンジンの排気ポート部に取り付けられている純正ガasketを外し、②③エキゾーストガasket#446、①⑥口金#160、①⑦アルミフランジを順に取り付けて、①⑩キャップボルトM8×30、①⑬キャップボルト用サラバネM8を使用して仮締めして下さい。
この時、F I G 5にて指示する所には②②EXPスプリングフックを共締めして下さい。
(F I G. 4. 5 参照)



F I G. 4



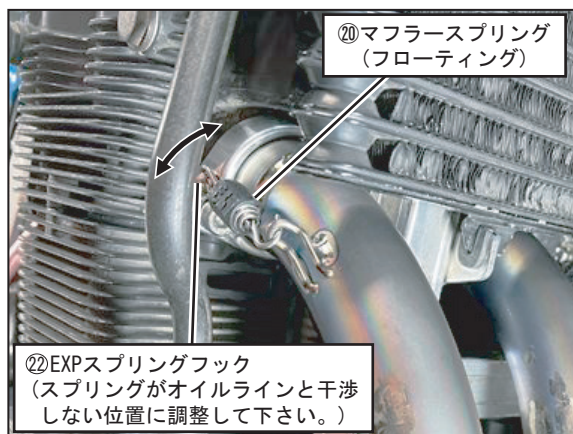
F I G. 5

6. 手順4で組み立てたエキゾーストパイプの間隔を調整し、手順5でエンジンに取り付けた①⑥口金#160に取り付け、フランジを規定トルクで締め付けて下さい。
次に、各エキゾーストパイプと②②EXPスプリングフックを②⑩マフラスプリング(フローティング)で固定して下さい。(F I G. 6. 7 参照)

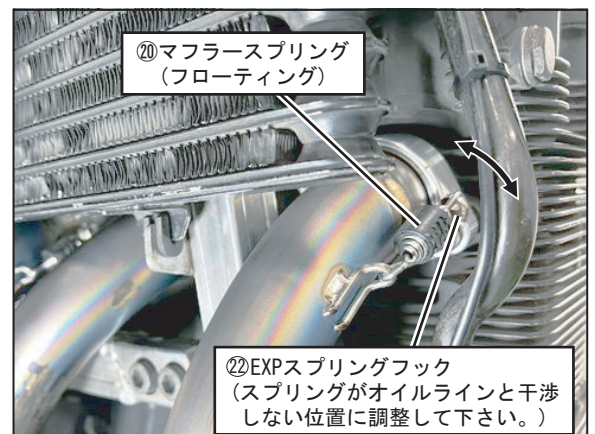
注意 規定トルク フランジ : 18 Nm
※エキゾーストパイプ#2のフランジを本締めする際は、EXPスプリングフックが回転しないよう押さえながら締め付けて下さい。



危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れないように十分注意して下さい。
(怪我をする恐れがあります)

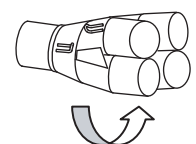


F I G. 6



F I G. 7

参考 ※車両に取り付けた状態で、集合部付近のエキゾーストパイプ同士が近過ぎる場合は集合部を前側から見て反時計回りに回す事で位置をある程度調整できます。
※マフラー各部とオイルラインとのクリアランスが狭い場合、オイルクーラー上部のボルトを緩めてオイルラインの調整を行って下さい。
調整を行った場合はクランキング(オイル上げ)を行い、オイル漏れ等の確認を行って下さい。



7. ⑤集合部に⑥テールパイプを取り付け、手順3でインナーチューブを取り付けた②①マフラスプリング(ロング)2本をスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。(FIG. 8 参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に充分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

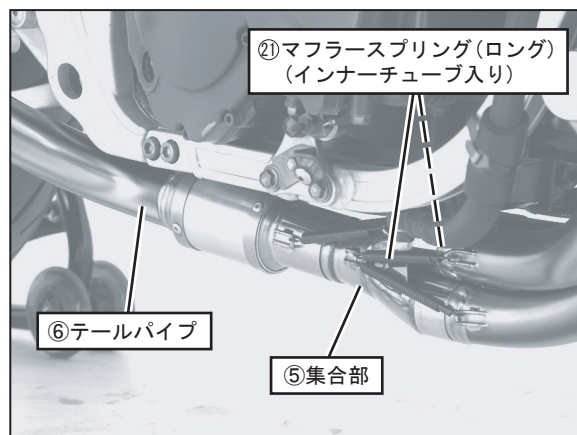


FIG. 8

8. ⑥テールパイプに⑦サイレンサーを取り付け、手順3でインナーチューブを取り付けた②①マフラスプリング(ロング)2本をスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。(FIG. 9 参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に充分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

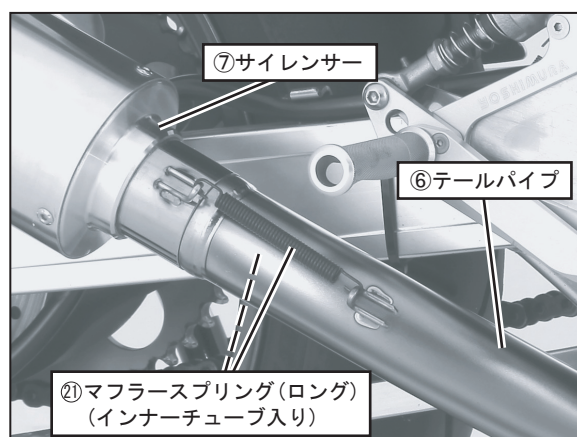


FIG. 9

9. ⑧サイレンサーバンドに⑨サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けて⑦サイレンサーに通し、⑪キャップボルトM8×45、⑫平ワッシャM8×20、⑮アルミカラー8-25-10、⑭フランジナットM8を使用して車両タンデムステップのマフラー取付位置に取り付け、仮締めして下さい。(FIG. 10、11 参照)

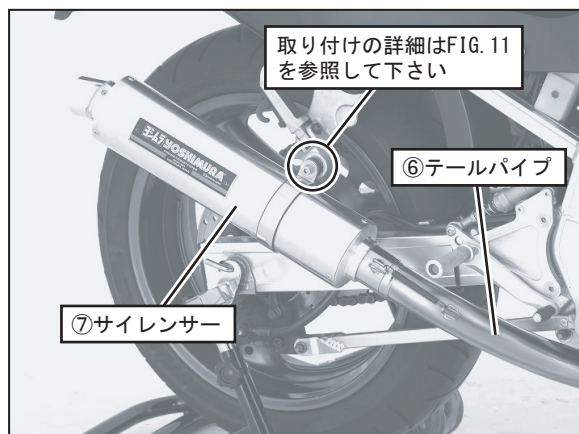


FIG. 10

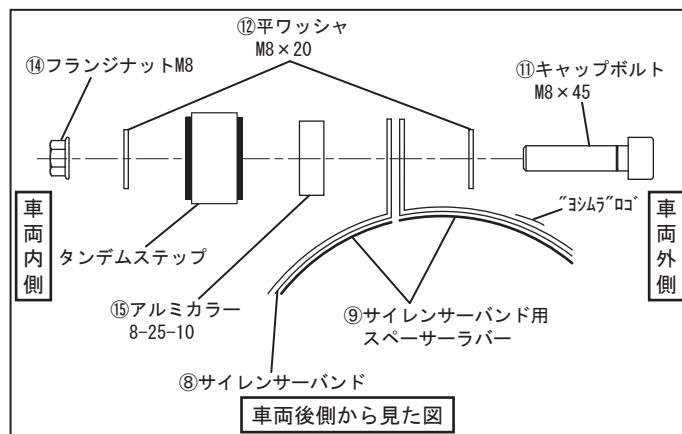


FIG. 11

10. 後ろから見てサイレンサーの傾きを調整し、マフラー各部と車両との干渉がない事を確認してから、手順9で仮締めしたサイレンサーバンドを留めるボルト・ナットを、規定トルクで締め付けて下さい。

⚠注意 規定トルク サイレンサーバンド : 23 Nm
※本締めの際、タンデムステップの荷掛けフック部とサイレンサーが非常に近くなるので、干渉しないようにご注意ください。

⚠危険 位置調整を行ってもマフラーと車両とのクリアランスが確保できない場合は取り付けを中止し、ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。
十分なクリアランスを確保していないまま使用すると、車両やマフラーの破損等の重大なトラブルに繋がる恐れがありますので決して使用しないで下さい。
上記を無視して使用した場合に発生した不具合(事故、車両や製品の破損等)は保証の対象外となります。

4. カウルの加工

○マフラーとサイドカウル、アンダーカウルが干渉する為、カウルの加工が必要になります。

11. 写真と図を参照し、右側サイドカウル・アンダーカウル裏側の干渉部をカットして下さい。
(FIG. 12, 13, 14 参照)

- 参考**
- ・マフラーとカウリングとの干渉は、車両によって多少異なります。実際にカウルを合せながら少しずつ加工して下さい。
 - ・カウルとマフラーとの間に10ミリ程のクリアランスが確保できるように調整して下さい。



FIG. 12

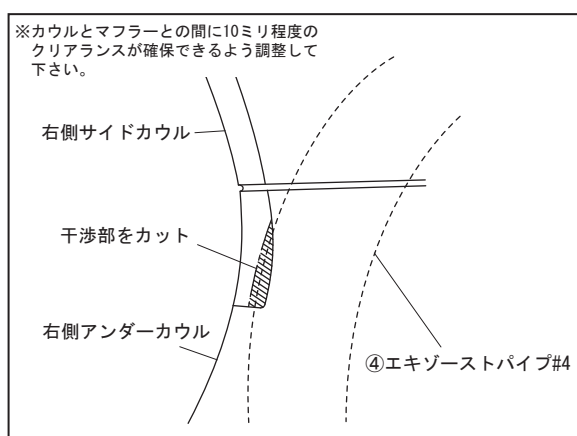


FIG. 13

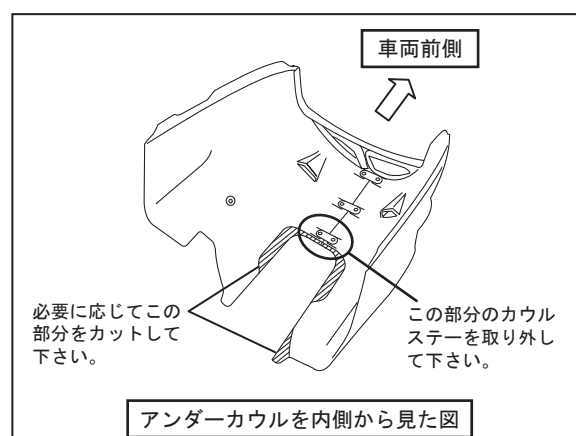


FIG. 14

12. 写真と図を参照し、オイルクーラー下のアンダーカウルの干渉部をカットして下さい。
(FIG. 15, 16 参照)

- 参考**
- ・マフラーとカウリングとの干渉は、車両によって多少異なります。実際にカウルを合せながら少しずつ加工して下さい。
 - ・カウルとマフラーとの間に10ミリ程のクリアランスが確保できるように調整して下さい。

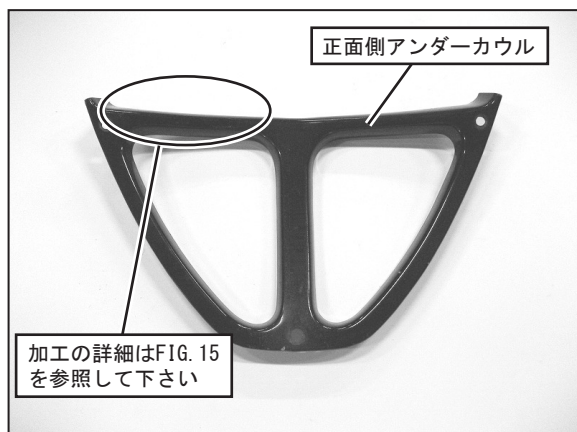


FIG. 15

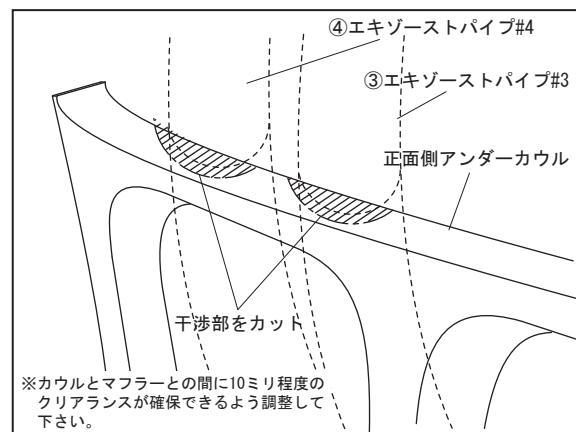


FIG. 16

13. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。

14. 加工したカウルを元通り取り付けして下さい。
この時、カウルを取り付けるボルトがマフラーと干渉する場合は、ボルトのナットから突き出ている部分をカットして下さい。（FIG. 17 参照）

15. マフラーと車両各部が干渉していない事を確認して下さい。干渉している場合は一旦カウルを外し、フランジ、サイレンサーバンドを留めるボルト・ナットを緩めて干渉しない位置に再度調整して下さい。

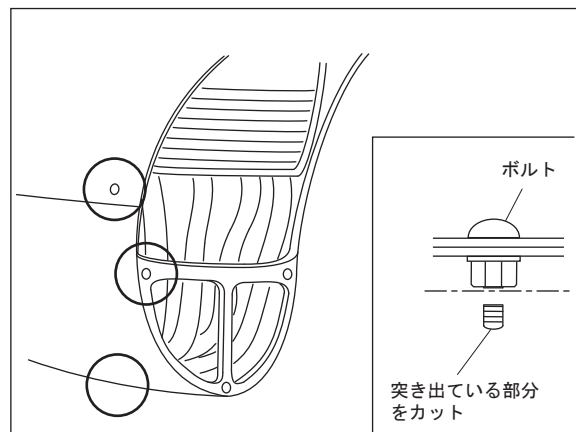


FIG. 17

⚠注意 足回りの変更、フロントフォークの突き出しの変更等のお客様の車両の仕様により、フルボトムした際にフロントフェンダーとマフラーが干渉する場合がございます。マフラーの位置調整でも干渉を避けられない場合は、フロントフェンダー後端をカットして下さい。

16. 暖気運転を行なって排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。
17. 走行中アフターファイアが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・集合部・テールパイプの差し込み部に、市販の液体ガスケット等を塗りシーリングを行なって下さい。それでも改善されない場合は、キャブレーターのパイロットスクリューの調整等を行なって下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行なって下さい。



GSX-R1100 (86-88) 手曲チタンサイクロン “Bonneville”

⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

⚠危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。
※車両の取り扱いや商品の取り付けは適切な服装、装備にて行って下さい。怪我や火傷の原因になる恐れがあります。

⚠注意

※取り付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取り付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガasket等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検(変形、キズ、車体との干渉等)を行って下さい。
※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

●2年保証について

※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。
※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。
※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧ください。
※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

オンライン保証登録のご案内: <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



●「政府認証マフラー」について

※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。
※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJMC A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラーリメイクのご案内

・マフラーリメイクのご案内 ▶



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

